



伝統行事

地域では一年を通じて様々な伝統行事が行われます。七五三、十三参りなど子どもたちの健やかな成長を祈願するまつりや、除夜祭、歳旦祭など一年の締めくくりに感謝し、新しい年がより良い年となるように願うまつりなどがあります。昔は、車にもしめ縄と一緒にみかんも付いていましたが、今ではしめ縄を飾る車も少なくなってきましたね。時代が変化していくとともに、伝統行事も継承していくことが難しくなっているのかもしれませんが、しかし、人生や生活の節目には、心を落ち着かせ、明日からの生活がより安心して過ごせるように家族で祈ることは大切に思います。時代が変わっても、子どもたちが家族や地域の人たちと一緒に賑やかに集える行事は残していきたいものですね。



渡

渡公民館では、しめ縄作りを子どもたちに教えることができる人材を増やそうと「しめ縄作り講習会」を開きました。



外江

現在3名の児童が練習しています



白尾神社 浦安の舞

戦後途絶えていた「浦安の舞」を柏木希依さん(外江小3年生)が80年ぶりに披露しました。ほか2名の児童も今後の祭りの奉納にむけて舞の練習をしています。

三中生徒がとんど祭りのお手伝い

今年は三中生徒4名が地域の方たちと一緒に餅つきをしたり、ぜんざいの振る舞いのお手伝いをしました。生徒は見守り隊の若林さんなどたくさんの地域の方と楽しそうに会話をしていました。地域の一員として、一生懸命に役目を果たす三中生を頼もしく思いました。



「ぜんざいはいかがですか～」



外江

立派なやぐらが組まれています



渡

年男年女

今年が年男になる渡邊神太さん(渡小5年生)が、地域の方々が見守る中、火入れの大役を務めました。「制限がある中でも、こうやって年初めの行事を開催して下さる自治会役員の方々に感謝します。」(母:渡邊博美さんのコメント)

対話の重要性

感染症予防対策により、またもや様々な行事に影響がでています。行事の中止や延期は仕方ないことですが、人と会う機会や対話をする機会が減ってしまうことは、子どもだけでなく大人にとっても心に悪い影響を及ぼすと思います。こんな時だからこそ、日ごろの対話の重要性を意識していきたいと思います。

文責：高梨 典子（地域学校コーディネーター）